

We Love インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合 Internet People

このコーナーは、インターネットピープルの皆さんが作るページです。話題のインターネットピープル、こぼれ話、CU-SeeMe大会など、読者の皆さんの投稿と編集部が取材した旬の話題を提供します。投稿分にはダイレクトプラスが発行されます。ジャンジャン投稿して豪華賞品をGetしよう。 **Let's Access!!**

Gallery デジタルカメラ写真展

皆さんがデジタルカメラで撮影した「インターネットなもの」を展覽します。街で見かけたインターネットに関係ある「こじ付けネーミング」、「え、こんなところ(人)がインターネットを...」、「わが社のインターネットマン(?)」などなど、何でもOKです。

検索サービスの広告が電車に!?



で、これが「Yahoo! JAPAN」。
URL <http://www.yahoo.co.jp/>

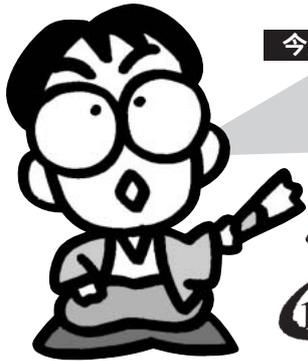
200,000
プラス

あの「Yahoo!」が電車の吊り広告に登場?
実は、めいほうスキー場の広告でした。(関根清一)
1996年12月30日朝8時10分、名鉄名古屋線車内にて撮影(エプソンCP-100使用)

投稿大募集!

あなたのまわりにある「え、これもインターネットに関係あるの?」とびっくりしたものを、デジタルカメラで撮影して、画像データをコメントや説明とともに編集部までお送りください。画像形式はJPEG(推奨)、GIF、TIFのいずれかを使用して、データをメールに添付してお送りください(メール1通に画像は1つ)。
宛先は ip-box@impress.co.jp
投稿していただいた方にはもちろん高額ダイレクトプラスを発行します。詳しくは410ページをご覧ください。

Shouting!



今月の高座

はじめまして、私は北海道のいなかに住んでいるので、OCNにはとても期待しています。インターネットマガジンのアクセスポイントマップを見ても、都会ではアクセスポイントもたくさんあるようですが、わが北海道にはまばらにしかありません。人里離れた田舎でこそ、通販や情報収集の手段としてインターネットを活用できると思う

のに…。聞くところによると、OCNでは日本中どこからでも3分10円でアクセスできるように、アクセスポイントが用意されるとのこと。これは辺境のネットサーファーであるわれわれにとって、超期待です。NTTさん、首を長〜くして待っています、早く来てね。
(松島さん)

すでにご存じの方も多いと思いますが、NTTでは、インターネットを含むコンピュータ通信利用の新しいネットワークとして、OCN(オープンコンピュータネットワーク)サービスを昨年末から開始いたしました。現在はまだ一部の地域でしか提供できませんが、今後順次提供エリアを拡大していく予定です。ちなみに、ダイヤルアップ接続型サービス(OCNダイヤルアクセス)におけるアクセスポイントは、現在は東京だけです。98年度末までにはおおむね全国に設置

する予定です。つまり、OCNのアクセスポイントへは全国どこからでも3分10円でアクセスすることが可能になります。松島さんをはじめOCNサービスをお待ちの皆さま、もうしばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。なお、今後のアクセスポイントの拡大計画などについては、OCNサービスセンター(フリーダイヤル0120-047-816)やOCNホームページ(<http://www.ocn.ne.jp/>)の中でもご確認いただけますのでぜひご利用ください。



NTT広報部主査の当野さんに聞きました。

Chatting!

声を聞かせて

定年間近の会社の先輩が、第二の人生としてネパール専門の旅行会社を作りました。ところが、現地と日本で連絡するのにFAXや電話を使っていると、10回も連絡すれば現地の1か月の給料になってしまうとのことでインターネット経由でメールをやりとりするしかない。今までインターネットはおろかコンピュータさえほとんどさわったことがない先輩にとって、とても敷居は高いと思いますが、ノートパソコンを買って練習しながら会社のみんなに質問している姿はまだ現役です。私もできることであればいくらでも手伝わせてもらおうと思います。楽しい第二の人生をお過ごしください。
(村山公一)



今までは15時間以内は定額、それを超えると従量課金のプロバイダーでしたが、昨年の10月頃よりCU-SeeMeにのめり込み、あっという間に15時間が過ぎ、従量課金があん千

円! これでは課金が怖くてなかなかインターネットを利用できません。しかし、CU-SeeMeしたい。そこで、思い切って定額制のプロバイダーへ変更しました。変更前はメールアドレスの変更、ホームページのリンク先変更が面倒、話中が多くないか、などの心配がありますが、今のところ問題なく、とても快適です。また、同時にテレホーダイへも加入したので、今は毎週金、土は23時から5時頃までCU-SeeMeを楽しんでいます。ただ、朝方に寝るので、家族との時間のズレが生じ、冷たい視線を浴びています。NTTへ言いたい、テレホーダイの時間帯をもっと拡張してくれ〜!
(Yuji Sasaki)



外国サイトの掲示板に登録したら、次々とメールが届く。感激! でも、文章は英文。当たり前。どうしよう、読むことはどうにかできても、メールとして文章を書くのは苦手! 書

きたいことは山ほどあるが、横文字にできない、返事の催促状は届くし、メールはたまるし、誰か助けて! 真面目に英語勉強しておけばよかった。反省!
(さとうゆきえ)



あるニュースグループ(fido7.esperanto)に、松山のタクシー会社が、自転車を乗客と運ぶサービスを始めたことを投稿しました。そうしたら、アメリカのアリゾナの人からは、面白いアイデアだという反応がありました。すると、デンマークの人から、デンマークでは、すべてのタクシーが自転車を運ぶという投稿がありました。世界の広さを痛感しました。日本でめずらしいことでも、国によっては、当たり前になってしまうのですね。
(Masa)



投稿大募集

Shouting! ・声を大にして言いたいこと・に物申す! ・に質問
Chatting! ・あなたのインターネット体験記・あなたのまわりで起こったできごと
宛先は ip-box@impress.co.jp 投稿文にはダイヤレクトプラスを発行します。詳しくは410ページをご覧ください。

インターネットがきっかけで結婚した

武市祥司さん・圭子さん夫妻



Q: 祥司さんのホームページを圭子さんが見て、メールを出したのが知り合ったきっかけだそうですね。

圭子: 私はアルクという出版社で編集の仕事をしていて、95年6月に『インターネットで留学実現』という単行本を出したんです。その頃から仕事ではインターネットを使って、ホームページを見たり、メールのやりとりはしていました。最近も、『Global EduNET』という教育現場でインターネットやマルチメディアをどう活用するかという新聞を担当していました。でも、会社でやっている自分の個人的に見たいところはなかなか見られないでしょう。それで、96年3月に、自宅でもマッキントッシュを買って、プロバイダーに入ったんです。そしたらハマってしまって、1日2時間くらいいろんな個人の方のページとか見るようになって、この人の日記にたどりついてメールを出したんです。高知関係の人のリンク集があって、そこに彼を含めて20~30人あったんですけど、適当に2人おきくらいに見ていって、たまたまこの人の日記のページに。人の日記というのはあまり見たことがなくて、確かこの人が初めてで

した。

祥司: 自分のホームページは2年くらい前に、1ページくらいで研究内容をちょっと紹介するくらいのは作っていましたが、96年9月に博士の学位をとったんですが、1日中ワークステーションに向かっていて息が詰まるので、ストレス発散もできるコンテンツも増やせるからというので日記を書き始めたんです。僕の書いているのは、いわゆるバカ系の日記ですけど、彼女が見たのは3月の中旬頃の日記で、俳優の萩原聖



約8か月の交際を経てゴールイン!

武市祥司さん・圭子さん夫妻は、96年3月に祥司さんのホームページに書いてある日記を読んで、圭子さんがメールを出したのがきっかけで知り合い、96年11月に結婚にゴールインした。パソコン通信で知り合ったカップルというのは何組も知っているが、インターネットのホームページでというのは初めて。新婚ほやほやのお二人に、出会いから結婚を決めるまでのお話をおうかがいした。

人が、映画のロケで行った大阪について『水が合わないんですね。大阪の人はデリカシーがねええ』とテレビで言っていたのを聞いて、『ナメとんのかあ、大阪を。ハギワラあ!』と切れて書いたやつなんです。圭子: 私は北海道生まれで、大阪って旅行で2、3回行っただけなんですけど、大阪って妙にテンションが高くてアジアっぽいじゃないですか、東京とまた全然違っていいところだと個人的に思っていたので、『そうですね、大阪っていいですね』というメールを書いたんです。

Q: そうすると、祥司さんがたまたま大阪のことを書いて、そのときたまたま圭子さんが読みに来たから、出会えたんですね。

祥司: この人は面白いページの作者にはいろいろメールを出していたらしいけど、誰にでもメール出してたわけじゃないらしくて、もし僕がああとき大阪の話を書かなかつたら、彼女はメールを出してないかもしれない、そしたら……という話は2人でよくしていました。それから最初に会ったのが、10日か2週間くらいしてから。彼女が上野に来る用事があった、僕の大学は上

野まで5分くらいなんです。何かで時間があるから夕御飯食べないかって、ハヤシライス屋で。

圭子：東京文化会館でコンサートを見る予定があったんです。

祥司：その頃は忙しくて追い込みでほとんど大学に泊まり込み。家に帰るのは週に1回くらいでした。それをメールに書いたら、この人が外でちゃんとご飯食べなさいというので、会ったんです。3月の終わりくらいですね。

圭子：彼はメールをまめにくれたんです。たいていの人はメールを出しても1往復くらいで終わることが多いんですけど。ほかにも2、3人ずっと続いている方もいますが、やっぱりまめな方たちです。私も返事をまめに出すほうなので、きちんきちんと返事をくださる方とは続きますね。

祥司：大学で専用線だから、メールが来るとすぐわかるんです。まめというより、メール出すのはダイヤルアップPPP接続の人より簡単なんですよ。

Q：会われた第一印象はどうだったんですか？

圭子：私は、イヤだったんです。何か熊みたいな人だと思って。私、出版社にいたから、周りにいる男性ってわりと小ぎれいなんです。何となく男性ってそういうものだと思っていたから、いきなりすごい人がきたので、ぎょっとしちゃった(笑)

祥司：研究室から、汚いジーンズでそのままでしたからね。僕はテンションの高い人だと思いました。

Q：そのあと、印象はどんなふうに変わっていったんですか？

圭子：2、3回会ううちにすごくいい人だと思ふようになったんです。裏表のない、飾らない人だって。普通の男性って、女性と会っているときって、次はどこに行こうとか、いろいろ計算するじゃないですか。この人はあんまりそういうことはしないんです。食事に行くにしても、小洒落た

人ならイタ飯に行こうとか考えるじゃないですか。それが、牛井とかラーメン屋とか。私も最初は抵抗あったんですけど、そのうちに飾らない人柄に魅かれたというか。

Q：意識し出したのはいつ頃からですか？

圭子：2、3回会ったら、私はデートという意識でした。

祥司：そう？僕は飯食いにしようという感じだったけど。

圭子：ひどーい。

祥司：論文の提出前は週に1回会えるか会えないかだったんだけど、その頃は支えてもらったという感じですね。姉御肌だけど、年上の人という感じはしなくて、面白い人だなあ、この人ならやっていけるかなあと。

圭子：メールがあったからよかったですね。週に1回会えるかどうかだったけど、メールは毎日出していました。彼は大学にずっと泊まり込みの状態なので、私から電話はなかなかできない。でも、メールで「元気？」とか「どう？」とか。私も仕事の話を書いたり。

祥司：電話は仕事を中断されるからイヤなんです。メールだと適当に一区切りついたときに読めるし書けるから、それも続いた理由かもしれないですね。

圭子：女性にまめな人じゃないから、メールがなかったら、どうなってたかわからない。最初に僕はまめじゃないから、電話もあまりしないと言われてましたから。(笑)

祥司：電話をかけるタイミングって難しいじゃないですか。7時頃にこの仕事が一区切りついたらと思っていると、気がついたら10時くらいになっていて、もうかけられないかなとか。それに比べて、電子メールは相手の都合を考えずに出せますから。

Q：インターネットで出会ったっていうと、インターネットのことを知らない人には誤解されませんか？

圭子：うちの親はすごくびっくりしてみたいです。何で知り合ったんだって聞かれ



東大の船舶海洋工学科の研究室のページの中に、祥司さんの日記があった。その中身に圭子さんが興味を持った。

だから、インターネットって正直に言っちゃったんです。両親は、インターネット自体がよくわからなくて、何かテレクラのようなかがわしいものだと思つたらしくて、すごく心配してみたいですね。東大の研究室のアドレスがあるから間違いはないと思うって言っても、アドレスっていうのがわからないですから。

祥司：実際にホームページでまったく嘘を書く人もいますからね。日記とかでも男性なのに女の子になりきって書いているネットオカマとかいますから。インターネットってすべての人に公開して、すべての人がアクセスできる場所がいっぱいだけど、その分、怖い面もありますね。

圭子：私も、HTMLは夏くらいに作っていつでもアップできる状態なんですけど、変なメールが来るとい話を聞いて、怖くてまだアップしてないんです。メールで知り合った女性の方で、変なメールをもらったことがない人っていないみたいですし。

Q：夫婦で一緒にホームページを作れば、女性だからって変なメールが来ることもないんじゃないですか？

祥司：ちょっと照れくさいですね。でも、3月に企業に就職して研究室のサイトから離れますから、それもいれかもしれません。

(取材・文/鈴木康之)

Research!

インターネット何でも調査隊が行く!

「インターネット何でも調査隊」は、ニュースなどでは解決できないインターネットについての素朴な疑問を、あなたに変わって調査します!

大好評インターネットマンション!? モデルルームを見に行った!

最近、不動産の広告などで目にする「インターネットマンション」なるものをご存じだろうか。今回の「インターネット何でも調査隊」は、このインターネットマンションの実態に迫りたい。

不動産会社(株)エム・シー・コーポレーションが販売するインターネットマンションは、インターネットに専用線環境が用意されているマンションだ。同社ではこれまでに3棟のマンションを販売しているが、そのうちの2棟は完売だという。同社の社長室室長、末永さんにお話をうかがった。

インターネットマンションが大好評というが、実際の反響はどうだろうか。

「これまでに販売した川崎市宮崎町と新宿区二十騎町のインターネットマンションは、おかげさまで完売しました。中には会社の寮として、教室まとめて契約したいとおっしゃられたお客様もいましたね。現在販売中の『プレール浜松町』には、年配の方や主婦の方からの問い合わせも多いですね」

インターネットと不動産というのは、なかなか結びつかないように思うが。

「これからの住宅にはテレビや電話と同じように、インターネットも当たり前のインフラになってくると思います。テレビを見るのと同じ感覚で、誰もが手軽にインターネットを利用できるようになるのではないのでしょうか。それには通信料金が気にならない専用線接続が不可欠だと思います。私どものインターネットマンションが、そのようなインターネットの普及のお役に立てたらと考えています」



末永さん(右)と通信事業部の武内さん

これがインターネットマンションだ!
「プレール浜松町」(東京都港区)



インターネットマンションの室内の様子。
(注)写真はモデルルーム

各室は専用線でLAN接続され、128Kで同社が運営するプロバイダーのM.C.インターネットに接続している。入居者は、部屋の壁にあるモジュラーコネクタと自分のコンピュータをつないでインターネットに接続する。ただし、今のところコンピュータはマンションの設備に含まれないので、入居者が各自用意することになっている。価格も普通のマンションの適正価格に設定したという。

問い合わせ

(株)エム・シー・コーポレーション
東京都港区南青山6-7-2 TEL 03-5467-3711

URL <http://www.mcgroup.or.jp/>

これが3,500万円のインターネットマンションだ!
このほかにもさまざまなタイプの部屋がある。



専用線接続のインターネットマンション取り扱い会社

会社名	問い合わせ先
(株)三洋エステート	06-994-3311
(株)共立メンテナンス	03-5295-7797
(株)板倉不動産	0729-65-0505

テーマ大募集

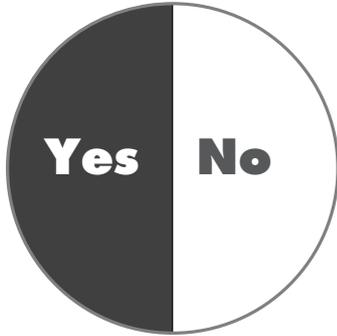
インターネットなんでも調査隊では、あなたの「見たい、知りたい、聞きたい」を応援します。どんなくだらないことでも結構です。

- ・こんなことを調べてみて
- ・これって実際はどうなってるの?

宛先は ip-box@impress.co.jp です。

Thinking!

インターネットマガジン世論調査



現在実施中!

学校のホームページは、 児童の情報保護の観点から、 規制すべきだと思いますか?

インターネットマガジンのWWWサーバーでは、社会のさまざまな問題や現象について、インターネットを利用して意見を募る「世論調査」のコーナーを設けています。現在実施しているのは教育目的のホームページが負う情報発信のリスクについて。

*

文部省は、学校教育にインターネットを活用していこうという方針を打ち出しており、今後多くの小中学校でホームページを

活用することが予想されます。しかし、その一方で、東京都世田谷区の小学校では、5年生の担任教諭が開いたクラスのホームページに対し、区側が「個人情報保護条例違反の恐れ」と「教育委員会の方針の違い」を理由に削除を求めています。

区の教育委員会側では、インターネットによる情報発信は、児童の個人情報が含まれリスクが大きいと、当面、実験に参加しているモデル校2校のみ以外は、個人情報保護審議会を通した手続きを経ない限り認めないという方針を打ち出しています。しかし、担任側は、ホームページによる情報発信は、上から規制されるべきものではな

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

く、発信側の責任において開設・運用すべきものと主張しています。

インターネットマガジンでは、この問題をヒントに、教育目的のホームページが負う情報発信のリスクをテーマに意見を募っています。詳しくはWWWサーバーをご覧ください。結果は次号以降に発表します。

今回のテーマ **募集中**

このほかにも、世論調査で取り上げてほしいテーマを募集しています。採用分には、ダイレクトプラスを発行します。

宛先はip-box@impress.co.jp



あの「落顔」をインターネットで

URL <http://www.ifnet.or.jp/parker/rakugao/index.html>

「落顔」(福笑い)とは、顔のイラストを選択して、マウスで顔にイタズラ書きができるほか、顔の輪郭、あるいはホワイトボードを選択して「目・鼻・口」を書き入れることができるホームページです。その際、マウスで操作することになるため、ペン書きではない面白い顔が完成することに(=福笑い)なります。さらに、自分の書いたイラストやデジタルカメラで撮った自分の顔も登録することができます。以前、テレビ番組であった「落顔」ですが、インターネットのインタラクティブ性を活かした参加型のページです。(北川靖)



My Home Page

自薦ホームページPRコーナー

あなたが生まれた日に使われた切手

URL <http://www2.meshnet.or.jp/higaside/birthday/birthday.html>

あなたがオギャーっと生まれた日に実際に使われた切手を探してみませんか? 私は昭和30年以降の毎日の消印が付いた切手を収集しています(現在の収集率約34%)。あなたの誕生日の切手が見つければ、その切手を「誕生日切手の広場」に掲載します。あなたのホームページ(URL)やメールアドレスをリンクすることもできます。あなたやあなたの家族の誕生日切手を掲載してみませんか。(東出正裕)



「チャバツ」を真面目に考える

URL <http://133.67.91.250/member/seko/chahatu/index.html>

私は現在大学院にて研修をしています、

高校の教師にとって、いわゆる「茶髪」はとても気になる現象です(教育学部の学生さんの中にもなんと茶髪の多いことか)。なぜ若者は髪の色を変えるのか。茶髪は定着していくのか、それともパンチパーマやリーゼントのようにすたれていくのか。「はたして茶髪は市民権を得たか」というテーマで、高校生・大学生630名に実施した調査の報告ページです。あわせて、一般の方へのアンケートや会議室なども用意しています。いっしょに茶髪について考えてみませんか。(瀬古洋)



WANTED!

アクセス増加は必至! 自慢の自作ホームページをこのコーナーで紹介してみませんか?

ホームページのURLに紹介文を添えて **ip-box@impress.co.jp**までご一報を! 投稿文にはダイレクトプラスを発行します。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp